令和7年度 公益社団法人 創玄書道会 事業計画書

公益目的事業

第1. 書道に関する展覧会の開催等

本会が標榜する現代書の優れた作品を発表することにより、会員相互の技能向上、意欲喚起ならびに、新人の発掘、育成を推進する。広く一般に向け優れた書芸術を発信することで、書道文化の振興と啓蒙に努める。またボランティアにより多くの国民に受益をもたらすことを掲げた活動を支援していく。

事業名	時期及び場所	事業内容
第61回 創玄展	2025年3月6日～16日 国立新美術館 東京都美術館 3月8日表彰式 ザ・プリンスパークタワー東京	<p><創玄展> 正会員の約1,500点と、準会員及び国内外から公募した約6,080点の作品の中から、本会審査会員によって鑑別・審査を受けて選抜された約3,740点の作品を展示。入場予測41,900人。ボランティア協力者約900人。</p> <p>*顕彰* 文部科学大臣賞・金子鷗亭記念賞・21世紀賞・東京都知事賞・理事長賞・大賞・準大賞・創玄書道会賞・毎日新聞社賞・特選他。合計約1,390点予定。</p>
		<p><作品解説会> 本会正会員による展示作品の解説会を会場内にて行い、作品鑑賞の機会を開く。会期中17回開催。聴講無料。</p> <p><席上揮毫会> 本会正会員による作品揮毫会を東京都美術館会場内にて行い、作品鑑賞を深める機会を開く。会期中1回開催。入場無料。</p> <p><オンラインの活用> 展覧会場内にQRコードを掲出し、個人の携帯電話で陳列室番の検索ができるシステムを使用する。</p>
併催 学生部門 全国学生書道展	2025年3月9日～15日 東京都美術館 3月9日表彰式 東京都美術館講堂	<p><全国学生書道展> 小学校入学前の幼児から、高校生までを対象として国内外から公募した約19,830点の作品の中から、本会審査会員によって鑑別・審査を受けて選抜された約5,160点の作品を展示。入場予測18,800人。ボランティア協力者約350人。</p> <p>*顕彰* 文部科学大臣賞・東京都知事賞・大賞・東京都教育委員会賞・毎日新聞社賞・金剛峯寺賞・学年優秀賞・創玄書道会奨励賞・特選他。合計約10,140点予定。</p>
		<p><作品解説会> 本会正会員による展示作品の解説会を会場内にて行い、作品鑑賞の機会を開く。会期中1回開催。聴講無料。</p>
第51回 創玄現代書展	2025年10月28日 ～11月2日 セントラルミュージアム銀座 11月1日表彰式 サンシャイン60ビル 58Fスカイレストラン	<p>理事・監事他、第61回創玄展グランプリ等受賞者による「推薦部門」作品約61点と、審査会員および創玄展一科在籍の有資格者が応募した作品約1,390点より、審査を受けて入選した「選抜部門」作品100点を展示。入場予測2,050人。</p> <p>*顕彰* 選抜部門 白鷗賞 9点予定。</p>
		<p><作品解説会> 選抜部門選考委員による解説会を会場内にて行い、作品鑑賞の機会を開く。会期中3回開催。聴講無料。</p>

事業名	時期及び場所	事業内容
第 62 回 全国競書大会	2025 年 11 月 13 日 創玄会館	<p><一般の部> 国内外より公募した約 6,910 点の作品の中から、本会審査会員によって審査を受けて選抜された優秀な作品を表彰し、成績と共に特に優れた約 50 点の作品を本会ホームページ及び「創玄会報」に掲載する。</p> <p><学生の部> 国内外より公募した、小学校入学前の幼児から高校生の約 22,540 点の作品の中から、本会審査会員によって審査を受けて選抜された優秀な作品を表彰し、成績と共に特に優れた約 115 点の作品を本会ホームページ及び「創玄会報」に掲載する。</p> <p>* 顕彰 * 優秀団体賞・東京都知事賞・創玄書道会賞・東京都教育委員会賞・毎日新聞社賞 他。合計約 12,920 点予定。</p>
第 76 回 毎日書道展協力	2025 年 7 月～8 月 国立新美術館 東京都美術館	<p>総出品点数約 26,720 点のうち本会より約 6,580 点出品協力。本会会員から運営委員、審査員、作品解説など運営に協力。ボランティア協力者約 150 人。</p> <p>主催: 毎日新聞社・(一財)毎日書道会</p>
第 43 回 日本詩文書作家協会書展協力	2025 年 6 月 セントラルミュージアム銀座	<p>総出品点数約 280 点のうち本会より約 150 点出品協力。本会会員から役員、事務局員など運営に協力。</p> <p>主催: 日本詩文書作家協会</p>
第 12 回日展協力	2025 年 11 月 国立新美術館	<p>第 5 科総出品点数約 8,820 点のうち本会より約 700 点出品協力。本会会員から審査、作品解説、会場当番など係員として運営に協力。</p> <p>主催: 公益社団法人日展</p>
第 44 回 北海道創玄展後援	2025 年 5 月 札幌市民ギャラリー	<p>北海道の会員及び、創玄展では会場の都合で陳列されない二科出品者の作品を展示するにあたり、約 19 万円を支援する。</p> <p>主催: 北海道創玄</p>
北海道立函館美術館への協賛	2025 年 北海道立函館美術館	<p>書道に関する展覧会に対して協賛を行う。</p> <p>主催: 北海道立函館美術館</p>
北海道松前町への支援	2025 年 北海道松前町	<p>「書の町づくり」に取り組む松前町に対し、令和 8 年まで毎年 60 万円の寄付を行う。</p>
北海道松前町への支援	2025 年 1 月 松前町教育委員会	<p>「第 19 回金子鷗亭記念松前町児童生徒書初め席書大会」に対し、名義貸与と賞品の提供を行う。</p>
正会員が主催する事業への後援	通年	<p>全国の正会員が行う展覧会に対し、後援を行う。約 60 件。祝電および案内用の宛名ラベルを原価提供により約 40 件協力。 2 月第 50 回養真選抜書作展、8 月第 40 回函玄社書道展 他。</p>

第2. 書道に関する講習会等の開催

集中学習により、会員の全国レベルの書道技術及び、古典への見識の向上と、書道教育者の育成を目的として開催。地域書道教育への還元と、振興に努める。広く一般に本格的な書道を学ぶ機会及び観賞する機会を開くことで、不特定多数への書道文化の寄与を担う。またボランティアにより多くの国民に受益をもたらすことを掲げた活動を支援していく。

事業名	時期及び場所	事業内容
第63回 創玄書道会全国夏期 書道研究会	2025年7月26日～29日 (予定)熱海市 金城館	本会役員の指導のもと、本会会員による作品制作研究会を3泊4日で開催。教員、書道指導者など、約150人参加予定。
第44回 古典研究会	2025年11月1日、2日 サンシャインシティ 文化会館ビル 5F 特別ホール	本会役員の講義と実技指導の臨書研究会を開催。本会会員及び一般の書道愛好家、約180人参加予定。
第13回 金子鷗亭記念「書道 パフォーマンス」	2025年5月 松前町町民総合センター	金子鷗亭先生の故郷である北海道松前町にて開催。「書のまち松前」の周知を図るため、後援と講師派遣を行う。 主催:文化の香り漂う書のまちづくり推進協議会
書道講習会	通年 全国	必要及び要請に応じて、本会正会員を一般の書道愛好者の主催する講演、研究会などへ指導者として派遣を行う。

第3. 書道文化の普及振興及び広報

本会会員相互の書道の学術的見識を深め、広く社会へ還元することを目標として行う。また本会の活動を周知することで、現代芸術としての書道文化の普及振興に努める。本会正会員と本会が賛同する地域、団体の活動に助成し、書文化啓蒙活動支援を推進して、交流を図る。

「金子鷗亭記念ギャラリー」は本会創設者、金子鷗亭先生の書業を称え、長年にわたり書文化を継承していくことを目的とする。また「創玄会館多目的ホール」を開放することにより、書道に関する団体の利便性を高め、普及振興を支援するものとする。

事業名	時期	事業内容
会報「創玄」 135号	2025年3月	約5,500冊発行。本会会員へ無料配布、関係団体へ贈呈。一般に向けて10冊販売予定。
会報「創玄」 136号	2025年8月	約5,550冊発行、本会会員へ無料配布、関係団体へ贈呈。一般に向けて10冊販売予定。
第61回 創玄展名鑑	2025年3月	約1,400冊発行、本会会員の希望者へ無料配布1,200冊、一般に向けて10冊販売予定。
第61回 創玄展作品集	2025年5月	約2,000冊発行、本会正会員へ無料配布、国立新美術館、道立函館美術館へ寄贈。一般に向けて450冊販売予定。
第51回 創玄現代書展作品集	2025年10月	約1,450冊発行、51回創玄現代書展出品者へ無料配布、関係団体へ贈呈。一般に向けて約430冊販売予定。
年度優秀研究物の 会報発表	2025年3月および8月	本会会員に限らず募集した、優れた書道に関する論文及び碑碣調査報告を「会報」に掲載。

事業名	時期及び場所	事業内容
国内外の優れた書道に関する美術館の見学・研修	通年 国内および海外	本会会員を中心に、国内外の優れた書道に関する美術館の見学・研修を行う。
創玄会館内「鷗亭記念ギャラリー」展示と管理	通年 創玄会館 3 階	金子鷗亭を中心とした作品を展示し、閲覧室、書庫、書斎の運営と管理。金曜日の 13:00～16:00 に「鷗亭記念ギャラリー」を開放し、一般の観覧を行う。年間入場者 30 人予定。
創玄会館内「多目的ホール」の貸与と管理	通年 創玄会館 2 階	書道を中心とした文化活動に貸し出しを行う。本会会員および広く一般の書道研究会、講習会など延べ 50 団体利用予定。
インターネット事業	通年	本会の事業と概要を広く一般に告知するため、公益社団法人として必要とされる資料、資産等を公示する。 <広報> 毎月「創玄だより」を発信。本会が主催・協賛・後援等を行う展覧会情報も掲載している。また、創始者金子鷗亭の年譜・代表作品等や、本会を代表する漢字・かな・詩文書・篆刻作品を紹介。「会員ホームページ」では正会員の略歴・代表作品および書道教室案内を行い、「一映像でみる一鷗亭イズム」にて、本会が継承する金子鷗亭の「書」に対する思想性を約 70 分の映像資料で分かりやすく紹介している。

第 4. その他目的を達成するために必要な事業

(1) 書道に関する優良図書の紹介および購入

(2) 日展パートナーズ加入 (10 万円)

公益社団法人日展の事業を支援するため、日展パートナーズ賛助制度（寄附制度）に加入する。

(3) 全日本書道連盟に加入 (15 万円)

公益社団法人全日本書道連盟の事業を支援するために加入する。